

John Miltonの*Of Education*におけるキリスト教的体育思想 (前編)ⁱOn the Christian Thought of Physical Education
in *Of Education* by John Milton桶田 由衣^aYui Oketa^a

Abstract

Physical education in John Milton's *Of Education* has been defined in theory as “humanist realism”, “military training”, and “spartan training”. However, there are few Milton researchers who have explored how Milton's thinking on physical education has been addressed in the history of physical education. This paper consequently examines the overlooked concept of physical education in *Of Education*, on which research in the history of physical education has rarely focused. Milton believed that true Christians must have knowledge both of the classics and of Christianity. However, most researchers of physical education have mentioned Milton's thought as realistic and based on the classics; they have thus overlooked the religious and spiritual goals espoused in *Of Education*. This has resulted in a misunderstanding of Milton's ideal purpose of education. In addition, Milton uses the words “fortitude” and “patience”, which he regards as constituting the highest virtue arguing his ideal exercise – a topic on which research in the history of physical education has not focused. These concepts are indispensable for understanding that Milton saw physical education as necessary to nurture Christians. This study therefore shows the difficulty of discerning Milton's true thought from research on the history of physical education, as well as the possibility that literature research can supplement the research being undertaken in other fields.

Key words: exercise, physical education, physical activity, Christianity
運動, 体育, 身体活動, キリスト教

序論

17世紀の英国詩人John Milton (1608-74)は、自身の教育論を論じた*Of Education* (1644)の巻末に“Exercise”「体育」の項目を設けて、体育の必要性を説いていたⁱⁱ。本作品は、12歳から21歳の上流階級の男子に施すためのカリキュラムについて綴られている。オランダの人文主義者・神学者Desiderius Erasmus

(1466?-1536)の着想を基に創設されたセント・ポールズ校等において、体育が重視されていなかったのは周知の事実ではあるが²⁾、Miltonは同校を卒業している。それゆえ、Miltonが体育について紙面を割いて論じることは、Miltonの体育に対する関心の高さを窺い知ることができる。実際、多くの体育史ⁱⁱⁱにおいて、Miltonは17世紀の体育思想に寄与した人物の一人として挙げられている^{iv}。

^a 日本大学スポーツ科学部

College of Sports Sciences, Nihon University

ⁱ 紙幅の関係で、本論は前後編に分けることとする。

ⁱⁱ “Exercise”の訳「体育」については、私市・黒田訳¹⁾『教育論』にならった。*Of Education*の“Exercise”には、運動のみならず、レクリエーションや食事等についても言及されているため、本論における訳語も「運動」にせず、「体育」を用いた。

ⁱⁱⁱ 昨今、世界的に「体育」が「スポーツ」へと名称変更している動向は、高橋³⁾が指摘しているところである。『最新スポーツ科学事典』⁴⁾序文においても、「体育学」をも包括する上位概念として「スポーツ科学」を位置づけていると述べられている。それゆえ、「体育史」ではなく「スポーツ史」と表記するのが適切である。しかしながら、“sport”「スポーツ」という言葉は、現代とMiltonが*Of Education*を執筆した17世紀では、その意味や内容に乖離がある。例えば、水野⁵⁾は、17世紀において“sport”は「遊び」を基調とし、現代のフットボールやラグビーといったスポーツとは別物だと指摘している。また森丘⁶⁾は、19世紀まではスポーツに娯楽やギャンブル以上の意義や価値を認めていなかったと説明している。これらのことから、本論においては「体育史」と表記する。

^{iv} 本論において検証した先行研究については、次章で説明したい。

従来の体育史研究において、Miltonの体育思想は、特に「古典主義」、「実学主義」、「スパルタ式」と評されている。杉本政繁⁷⁾は、*Of Education*におけるMiltonの体育思想について、Plato (427-347 B.C.) や Aristotle (384-322 B.C.) 等の思想が反映され、国家の指導者となるべく人物を育成するために、軍事教練を通じた体育が実施され、それが教養学科目と並ぶ必須要素としてとらえられていることを指摘し、さらに従来の体育史研究の中でMiltonへの言及が認められることを端的にまとめている。特に、同論文の*Of Education*における“exercise”, “recreation”, “sport”といった語の使用例に関する研究は、これまでの体育史研究およびMilton研究においても十分に検証されていなかったが、一部の引用例や“sport”の語の使用については、再度検証が必要と思われる箇所がある^{v)}。このように、体育史の観点からのMiltonの体育に関する研究は行われているものの、文学研究からのMiltonの体育および体育思想への寄与に関して論じた研究は多くない。一例を挙げれば、Lieb⁸⁾は、Miltonの作品において肉体的状態が精神にも関連する例を挙げて、体育と宗教の関連性を指摘しているが、従来の体育史研究におけるMiltonに対する評価や体育史研究で指摘されない点については言及していない。一方で、体育史の先行研究においては、通例Milton研究であれば、*Of Education*を論じる際に必ず言及されるキリスト教との関連について、あまり言及されていない。本論は、Miltonの*Of Education*において、体育史研究が着目していない箇所を検証し、Miltonの意図する教育目標、理想のキリスト教徒像について探りたい^{vi)}。

1. 先行研究におけるMiltonの体育思想

本論に入る前に、従来の体育史研究におけるMilton

および*Of Education*のカリキュラムに対する評価についての検証結果を提示したい^{vii)}。まず、体育史の中でMiltonの立ち位置についてみると、多くの体育史研究において、主に16世紀から17世紀に活躍したHumanist Realistの体育論者の一人としてMiltonの名が挙げられ、その中で英国のRoger Aschan (1516-68)、フランスのFrançois Rabelais (1483-1553) と同列にその名が列挙されていた^{viii)}。他には、スペインのJuan Luis Vives (1492-1540)、英国のRichard Mulcaster (c.1531-1611)、Frances Bacon (1561-1626) に並んでMiltonの名を挙げている先行研究も認められた¹⁶⁾。特に17世紀の英国のHumanist Realistの体育論者として、Miltonは、体育史を理解する上で不可欠といっても過言ではないだろう。さらに中村¹⁷⁾は、19世紀初頭に主にパブリック・スクールで成立してきた近代スポーツ教育の確立の過程を検証するに当たり、17世紀のピューリタン革命時に代表されるMiltonを含むピューリタンの教育論について言及する必要性を述べている。ピューリタン革命によって発足した共和政は、約10年で潰えるものの、それが後の近代スポーツ教育の礎の一つになっていることを示していると言える。

続いて、*Of Education*については、表1のように言及されている。Miltonの*Of Education*における体育思想の特徴は、「古典主義」や「実学主義の教育」、「軍事教練」、「上流階級の男子のための教育」、「心身の発達に関する教育」といったものが多く挙げられていた。「古典主義」、「軍事教練」については、表現こそ違うものの、後ほど詳述するMiltonの体育思想が、古代ギリシアのスパルタにおける軍事教練を意識していることから、これら二つは古典的要素すなわちギリシアにおける実践的な身体訓練を想起させる表現であ

v “recreation”の使用例として挙げている例文について、*Of Education*とは異なるMiltonの作品から引用している箇所が一部認められた。しかしながら、一見*Of Education*からの引用のように見えるため、扱いには注意されたい。

vi Miltonの作品から引用する場合は、全て*The Works of John Milton*⁹⁾を用いる。今後韻文作品は引用文の後の括弧に行数を、散文作品は引用文の後の括弧にページ数を記載する。なお、行数およびページ数の後のvol.は、*The Works of John Milton*から引用した巻数を示す。

vii 今回の検証で用いた先行研究は、主に杉本政繁¹⁰⁾の論文を参考にし、検証を行ったが、同論文の検証に含まれていないものも対象とした。本論で用いた先行研究については、次の10本の引証資料を参照されたい¹¹⁾。別の先行研究も検証したが、Miltonに関する言及は無かった。次の引証資料を参照のこと¹²⁾。

viii Leonard¹³⁾は、16世紀から17世紀に活躍した体育論者18名を挙げ、その時代の最後を飾る人物として、Miltonを挙げている。Mechikoff¹⁴⁾は、1560年から1789年までの体育に関して、他の先行研究と異なりMiltonとその体育思想について言及していないものの、体育史関連人物の一覧の中にMiltonを含めており、体育に貢献した人物としてみなしていたと言える。

表 1 先行研究で言及されている *Of Education* の評価

<i>Of Education</i> の評価	先行研究
古典文献を典拠・古典主義	Hackensmith (99-100); Zeigler (93); Brailsford (95)
実学主義の教育	Hackensmith (99-100); Rice, Hutchinson, and Lee (54); Van Dalen and Bennett (165); Leonard and Affleck (57); Zeigler (93); 今村 (42-44)
軍事訓練を基調としたプログラム、戦争に向けた体育の有用、スパルタ式のカリキュラム	Rice, Hutchinson, and Lee (55); Van Dalen and Bennett (165, 167); Leonard and Affleck (57); 中村 (43); Zeigler (93); 今村 (44); Brailsford (96-7)
上流階級の男子の教育にのみ焦点を当てた教育論	Rice, Hutchinson, and Lee (55); Van Dalen and Bennett (166); Leonard and Affleck (57); Brailsford (98)
身体運動とメンタル・道徳面の教育	Van Dalen and Bennett (164); Leonard and Affleck (57); McIntosh (43); 今村 (44); Brailsford (96)

る¹⁸。しかしながら、体育史研究で取り上げられる *Of Education* の引用箇所を見ると、文学研究と体育史研究において、引用箇所に差があることが明らかとなった。特にそれは、前述したギリシアにおける軍事教練と関連する箇所において認められた。次章において、その差について詳述する。(後編に続く)

引証資料

- 1) ミルトン, ジョン: 教育論, 私市元宏・黒田健二郎訳, 未来社, 東京, 1984.
- 2) McIntosh, P. C.: *Sport in Society*. London: C. A. Watts & Co. Ltd; 1971: 41. Lieb, Michael.: "The Sinews of Ulysses": Exercise and Education in Milton. *The Journal of General Education*. 1985; 36(4): 249.
- 3) 高橋健夫: 体育と体育学, 体育原理講義, 中村敏雄・高橋健夫編, 大修館書店, 東京, 22-33, 2009.
- 4) 日本体育学会編: 最新スポーツ科学事典, 平凡社, 東京, 1-2, 2006.
- 5) 水野忠文: スポーツとは何か, スポーツの科学的原理, 大修館書店, 東京, 23, 1978.
- 6) 森丘保典: 近代スポーツの成立と発展, コーチン

グ学への招待, 大修館書店, 東京, 3, 2022.

- 7) 杉本政繁: ミルトンの体育思想— "Of Education" (1644) に見るルネサンス期の体育—, 大阪体育大学紀要, 2005, 36: 1-9.
- 8) Lieb, Michael.: "The Sinews of Ulysses": Exercise and Education in Milton. *The Journal of General Education*. 1985; 36(4): 245-56.
- 9) Milton, John: *The Works of John Milton*. General editor, Frank Allen Patterson, 23 vols, Tokyo: Hon-no-tomoshia; 1993.
- 10) 杉本政繁: ミルトンの体育思想— "Of Education" (1644) に見るルネサンス期の体育—, 大阪体育大学紀要, 2005, 36: 1-9.
- 11) Hackensmith, C. W.: *History of Physical Education*. New York: Harper & Row; 1966. Rice, Emmett A., John L. Hutchinson, Mabel Lee.: *A Brief History of Physical Education*. 5th ed. New York: The Ronald Press Company; 1969. Van Dalen, Deobold B., and Bruce L. Bennett.: *A World History of Physical Education: Cultural, Philosophical, Comparative*. 2nd ed. New Jersey: Prentice Hall, Inc.; 1971. Leonard, Fred Eugene, and George B. Affleck.: *A Guide to the History of Physical Education*. Connecticut: Greenwood Press; 1971. McIntosh, P. C.: *Sport in*

ix Lieb¹⁸ はギリシアにおける体育が教育として用いられており、特にその中でも Plato や Aristotle の作品の一節を引用しながら、レスリングや軍事教練について言及されているという。Plato と Aristotle の作品については、次の引証資料を参照のこと¹⁹。また、*Of Education* の特徴が複数挙げられる理由として、本作品の体育が身体活動だけでなく多岐に渡るレクリエーションも含むからであると考えられる。

- Society*. London: C. A. Watts & Co. Ltd; 1971. 中村敏雄：スポーツと教育 スポーツを考えるシリーズ3, 大修館書店, 東京, 1978. Zeigler, Earle F.: *History of Physical Education and Sport*. Revised ed. Illinois: Stipes Publishing Company; 1988. 今村嘉雄：西洋体育史上, 戦後体育基本資料集, 第17巻, 木下秀明監修, 大空社, 東京, 1996. Brailsford, Dennis.: *Sport and Society: Elizabeth to Anne*. London: Routledge & Kegan Paul; 2010. Mechikoff, Robert A.: *A History and Philosophy of Sport and Physical Education: From Ancient Civilizations to the Modern World*. 8th ed. New York: McGraw Hill LLC; 2024.
- 12) McIntosh, P. C. et al.: *Landmarks in the History of Physical Education*. London: Routledge & Kegan Paul; 1981. 写真記録刊行会編：〈体育・スポーツ〉の世界史, 日本図書センター, 東京, 2011. 中房敏朗・石井昌幸他：スポーツの世界史, 一色出版, 東京, 2018. マコーム, デイビッド・G：スポーツの世界史, 中房敏朗・ウエイン・ジュリアン訳, ミネルヴァ書房, 京都, 2023.
- 13) Leonard, Fred Eugene, and George B. Affleck.: *A Guide to the History of Physical Education*. Connecticut: Greenwood Press; 1971: 49-58.
- 14) Mechikoff, Robert A. *A History and Philosophy of Sport and Physical Education: From Ancient Civilizations to the Modern World*. 8th ed. New York: McGraw Hill LLC; 2024: 154-76.
- 15) Hackensmith, C. W.: *History of Physical Education*. New York: Harper & Row, 1966: 96-108. Rice, Emmett A., John L. Hutchinson, Mabel Lee.: *A Brief History of Physical Education*. 5th ed. New York: The Ronald Press Company; 1969: 53-55. 今村嘉雄：西洋体育史上, 戦後体育基本資料集, 第17巻, 木下秀明監修, 大空社, 東京, 1996: 42-48.
- 16) Van Dalen, Deobold B., and Bruce L. Bennett.: *A World History of Physical Education: Cultural, Philosophical, Comparative*. 2nd ed. New Jersey: Prentice Hall, Inc.; 1971: 162-68. Zeigler, Earle F. *History of Physical Education and Sport*. Revised ed. Illinois: Stipes Publishing Company; 1988: 92-93.
- 17) 中村敏雄：スポーツと教育 スポーツを考えるシリーズ3, 大修館書店, 東京, 1978: 28-48.
- 18) Lieb, Michael.: "The Sinews of Ulysses": Exercise and Education in Milton. *The Journal of General Education*. 1985; 36(4): 249.
- 19) プラトン：法律(下), 森進一・池田美恵・加来彰俊訳, 岩波書店, 東京, 2017: 39-42, 76-82. プラトン：国家(上), 藤沢令夫訳, 岩波書店, 東京, 2022: 247-51. アリストテレス：政治学(下), 三浦洋訳, 光文社, 東京, 2023: 366-70.

John Miltonの*Of Education*におけるキリスト教的体育思想（後編）On the Christian Thought of Physical Education
in *Of Education* by John Milton桶田 由衣^aYui Oketa^a

2. 古典的教育観とキリスト教的教育観の融合—

*Of Education*の理想の教育目標

体育史研究で*Of Education*について言及するときは、古代ギリシアのスパルタにおける実践的な軍事教練について焦点が当てられていた。その一方で、聖書や神、キリストといったキリスト教を想起させる内容については、従来あまり言及されていなかった¹。そこで、体育史研究で論じられない*Of Education*で言及されるキリスト教的要素に焦点を当て、Miltonがギリシアに代表される古典的要素だけに依拠するのではなく、真のキリスト教徒を養成する教育を理想としていたことについて述べる。

まずは、体育史研究で多く引用されるMiltonの主張する教育の目標について確認しようⁱⁱ。“I call therefore a compleat and generous Education that which fits a man to perform justly, skilfully and magnanimously all the offices both private and publick of Peace and War.” (*Of Education* 280, vol. 4) 平時であれ、戦時であれ、公的、私的であっても、職務をやりとげる人間を訓練するという実践的な教育が主張されていることは、多くのMilton研究者からも指摘されている³。さらに、*Of Education*の“Exercise”の項目において、Miltonはこの定義を再度体育に即して次のように言及する。“... whereas that City [the Common-wealth of Sparta] train'd up their Youth most for War, and these in their

Academies and *Lycæum*, all for the Gown, this institution of breeding which I here delineate, shall be equally good both for Peace and War.” (*Of Education* 287-88, vol. 4 括弧は論者による) スパルタにおける戦時に向けた軍事教練やAristotleが開いた学園リュケイオンなどにおける平時の教育を意識しつつも、自身の教育機関は、平時にも戦時にも有用であると言い、ギリシア的な要素を取り入れつつ、独自の教育機関を主張している。Miltonが殊更に軍事教練を体育に取り入れた背景として、*Of Education*を出版した1644年が、ピューリタン革命の内乱の最中であったことから、Miltonの脳裏に軍事的な発想があったとされる⁴。確かに、Miltonが*Of Education*において掲げる理想の体育として、古典的すなわちギリシア的な要素を含んでいる。そのため、上記の二つの引用からでは、キリスト教に関連する内容を窺うことができず、Miltonはむしろギリシア的な要素のみを重要視しているように思われる。そこで、体育史研究において引用、言及されないMiltonの主張する学問の目的について取り上げたい。次の引用は、私市・黒田⁵が、本作における最も有名な一節だと評するほど、*Of Education*について言及する際には必出の箇所であるⁱⁱⁱ。“The end then of Learning is to repair the ruines of our first Parents by regaining to know God aright, and out of that knowledge to love him, to imitate him, to be like him, as we may the nearest by possessing out souls of true vertue, which

^a 日本大学スポーツ科学部

College of Sports Sciences, Nihon University

i Van Dalen and Bennett, McIntosh, Brailsfordはキリスト教に関連する事柄について言及してはいたものの、*Of Education*から具体的な引用をしていない¹。

ii 当該箇所を引用していた文献は次の引証資料を参照のこと²。

iii Milton研究で次の引用文を引用している文献は、次の引証資料の通り⁶。体育史研究からは、杉本政繁⁷のみが言及しているが、具体的な検証や分析には至っていない。

being united to the heavenly grace of faith makes up the highest perfection.” (*Of Education* 277, vol. 4) 学問の目的は、神を再び正しく知ることができるようになって、始祖たるアダムとイヴが犯した墮罪を回復することである。これは、宗教的すなわちキリスト教的な目標で、かつ先に挙げた教育目標の基礎となると指摘されている⁹⁾。そしてMiltonは次のように続ける。“But because our understanding cannot in this body find it self but on sensible things, nor arrive so clearly to the knowledge of God and things invisible, as by orderly conning over the visible and inferior creature, the same method is necessarily to be follow’d in all discreet teaching.” (*Of Education* 277, vol. 4) 我々の理解力は、目に見えるものにしか及ばないため、まずは目に見えるものから順序正しく学ぶことでしか、神と目に見えない事からを知る知識に到達できないという。それゆえ、真の宗教的な教育目標を到達するために、表2のような段階でMiltonのカリキュラムが展開されるのである^{iv)}。

体育においては、軍事教練といった具体的で実践的なものが、“visible”な教育として展開されていると考えられる。こうした理解可能な段階的な目標を達成することで、キリスト教の神の知識を習得した理想のキリスト教徒となる。つまり、“the end of Learning”は、先に挙げた平時でも戦時でも適用できる教育の目標と併せて言及しなければ、Miltonのカリキュラムは完成しないのである。Miltonが意図する目標は、職務をやり遂げるといった古典的要素を下敷きとした“visible”な教育目標と、“the end of Learning”に表される真のキリスト教徒となるための目標が融合することであると言える^{v)}。

3. 「精神的強さ」と「忍耐」—Miltonの考える理想のキリスト教徒

本章においては、体育史研究でこれまで示されていないMiltonが体育を重視していた理由について説明

表2 *Of Education* のカリキュラム

第一段階 ・ラテン語文法 ・教育の本を読むこと(美德と真の鍛錬を愛するために) ・算術 ・夕食後から就寝までは、聖書物語でキリスト教の教育
第二段階 ・農業、地理、ギリシア語、幾何学や天文学等、数学、建築学や航海術等、気象学や動植物学等、医学の入門、詩の鑑賞
第三段階 ・倫理学、家政、政治学、法律学、歴史学、叙事詩、悲劇
第四段階 ・論理学、修辞法、詩学、詩作など
体育
※昼食前の約一時間半前を体育やその後の休息に充てる (1) 武器(剣)の正確な使い方(防衛・攻撃方法) (2) レスリングの組手 ※合間や食事前に音楽を聴いて、気持ちを落ち着かせる (3) 夕食の2時間前ほど前まで学習し、突然の合図で軍事教練に召集 ※最初は徒歩、次第に騎馬や騎兵の技術を習得 (4) 行軍、築城などの技術の習得 →結果、国に奉仕できる指揮官となりうる ※以上の体育のほかに、2, 3年して基礎固めができたなら、案内人同伴で馬に乗って遠出し、有名な場所、建物、耕作地、港などを見学し、航海や海戦の実施の知見を得る。23, 24歳頃に海外へ ※食事は、外食はなるべくせず、質素で適度なものにすること

する。前述のように、*Of Education* における体育思想の特徴は、「軍事教練」、「スパルタ式の兵士養成」のための教育であることは明らかである。次の引用において、Miltonが理想とする運動について述べられているが、ここからも古典の知識をただ模倣しているわけではなく、Miltonの理想とするキリスト教徒像が読み取れる。

The Exercise which I commend first, is the exact use of their Weapon, to guard and to strike safely

iv 表2は、次の引証資料を一部参考にして作成した⁹⁾。

v 二つの目標が融合しないしは補完し合うという指摘については次の引証資料を参照されたい¹⁰⁾。特に晩年の作品において、Miltonはギリシア・ローマの知識の習得のみに偏ることへの批判をし、それを下敷きにした上で、聖書やキリスト教に関する知識を獲得する必要があると主張するようになる¹¹⁾。具体例として、Miltonの晩年の叙事詩*Paradise Regained* (1671)において、キリストの敵である墮天使サタンが、キリスト教のことには一切言及せず、ギリシア・ローマの雄弁術を学ぶべきとキリストを誘惑している場が挙げられる。

with edge, or point; this will keep them healthy, nimble, strong, and well in breath, is also the likeliest means to make them grow large and tall, and to inspire them with a gallant and fearless courage, which being temper'd with seasonable Lectures and Precepts to them of true *Fortitude* and *Patience*, will turn into a native and heroick valour, and make them hate the cowardise of doing wrong. (*Of Education* 288, vol. 4 斜字体は論者による)

Miltonのいう“exercise”は、武器の正確な使い方について理解することが第一で、これによって、健康で強靱な状態を保ち、体格良く、長身になり、そして恐れず、勇敢になるという。そして、真の“fortitude”[精神的強さ]と“patience”[忍耐]を、時宜を得て訓戒し、教化することで調和させるならば、生来の英雄的な勇気となると述べ、健康や体力だけでなく、精神面の向上も期待できるというのである。当該箇所は、従来の体育史研究において最も引用および言及されている箇所ではあるものの、斜字体の箇所については、体育史研究において省略されるか、引用されたとしても、分析対象にならない^{vi}。斜字体で示した“fortitude”と“patience”という語は、Miltonにとっては、キリスト教徒として持つべき重要な徳として述べられる。例えば、Dorian¹³⁾は、*Of Education*の当該箇所の注釈として、Miltonが*Of Education*以後の作品においても、“patience”が最も高い忍耐を示すことを繰り返し述べていると説明し、その具体例として、叙事詩*Paradise Lost* (1667)と劇詩*Samson Agonistes* (1671)を列挙している^{vii}。両作品は、誘惑に屈せず、逆境にも耐える強さを持つべきであると謡う作品であり、Miltonが1640年代にすでにそうした意識があったことが窺える。さらに、Miltonが自らの神学体系を論じたとされる*Christian Doctrine*において、“fortitude”と“patience”は次のように定義づけられている^{viii}。“FORTITUDE is chiefly conspicuous in repelling evil, or in

regarding its approach with equanimity. ... The great pattern of fortitude is our Savior Jesus Christ, throughout the whole of his life, and in his death.” (*Christian Doctrine* 247, 249, vol. 17) “PATIENCE consists in the endurance of misfortunes and injuries.” (*Christian Doctrine* 253, vol. 17) “fortitude”は、悪や誘惑に耐え、抵抗する際に行使することであり、一方、“patience”は逆境や不当な扱いに耐えることと定義づけられている。特に注目すべきは、“fortitude”を備えた人物の例としてイエス・キリストを挙げている点である。これらを*Of Education*に適用して考えると、Miltonは、体育でもってキリストのような誘惑や逆境にも耐えられる精神的な強さを養成させることができるというのである。体育によってMiltonが特に重んじていた“fortitude”と“patience”が涵養されるということは、Miltonがいかに体育を重視していたかを窺い知ることができる。

結論

従来の文学研究において、*Of Education*で言及される体育について扱われることは少なく、体育史の中でのMiltonについて論じられる機会も稀少であった。一方、体育史研究において、Miltonの*Of Education*は多く取り上げられ、Miltonが体育に寄与したことが示されていた。しかしながら、体育史研究においては、*Of Education*の実用的な側面を取り上げることが多く、文学研究で必ず言及する本作品におけるキリスト教徒としての学問の目的について、ほぼ言及されなかった。また、運動によってMiltonの考える重要な徳“fortitude”と“patience”を備えたキリスト教徒を育成できると本作品において主張されていた点についても、指摘されることが少なかった。以上のことから、体育史研究においては、本作品のキリスト教に関する事項が述べられていないことが明らかとなった。ギリシアにおける軍事教練に代表される実用的な教育のみを取り上げることは、Miltonの本意ではない。Milton

vi 次の引証資料は、当該箇所を引用していたものの、斜字体の箇所は全て省略されていた¹²⁾。左記以外の今回の検証対象の資料には引用されていなかった。

vii Miltonが晩年の作品において“patience”を重視していることについては、次の引証資料でも指摘されている¹⁴⁾。

viii *Christian Doctrine*はMilton死後の1823年に発見され、1650年代後半に制作された可能性があるという¹⁵⁾。本作品は、ラテン語で執筆されているため、引用は*The Works of John Milton*の英訳を用いた。

が重視したのは、体育も含めた具体的な教育を実施し、その目標を段階的に達成することで真のキリスト教徒となることであった。そのため、Miltonが意図する理想の体育思想を理解するためには、体育史研究だけでなく、文学研究による補完が必要になると言える。

引証資料

- 1) Van Dalen, Deobold B., and Bruce L. Bennett.: *A World History of Physical Education: Cultural, Philosophical, Comparative*. 2nd ed. New Jersey: Prentice Hall, Inc.; 1971: 164. McIntosh, P. C.: *Sport in Society*. London: C. A. Watts & Co. Ltd; 1971: 43. Brailsford, Dennis.: *Sport and Society: Elizabeth to Anne*. London: Routledge & Kegan Paul; 2010: 97.
- 2) Rice, Emmett A., John L. Hutchinson, Mabel Lee.: *A Brief History of Physical Education*. 5th ed. New York: The Ronald Press Company; 1969: 54. Van Dalen, Deobold B., and Bruce L. Bennett.: *A World History of Physical Education: Cultural, Philosophical, Comparative*. 2nd ed. New Jersey: Prentice Hall, Inc.; 1971: 164. Leonard, Fred Eugene, and George B. Affleck.: *A Guide to the History of Physical Education*. Connecticut: Greenwood Press; 1971: 57. Brailsford, Dennis.: *Sport and Society: Elizabeth to Anne*. London: Routledge & Kegan Paul; 2010: 95.
- 3) Hillway, Tyrus.: Milton's Theory Of Education. *College English*. 1944; 5(7): 376. McGuire, Maryann Cale. *Milton's Puritan Masque*. University Of Georgia Press; 1983: 47. Schuler, Stephen J.: Sanctification in Milton's Academy: Reassessing the Purposes in *Of Education* and the Pedagogy of *Paradise Lost*. *Milton Quarterly*. 2009; 43(1): 39, 41. <https://onlinelibrary.wiley.com/doi/epdf/10.1111/j.1094-348X.2009.00209.x>. June 1. 2022.
- 4) ミルトン, ジョン: 教育論, 私市元宏・黒田健二郎訳, 未来社, 東京, 1984: 68-69. Brailsford, Dennis.: *Sport and Society: Elizabeth to Anne*. London: Routledge & Kegan Paul; 2010: 96-97.
- 5) ミルトン, ジョン: 教育論, 私市元宏・黒田健二郎訳, 未来社, 東京, 1984: 34.
- 6) Hillway, Tyrus.: Milton's Theory Of Education. *College English*. 1944; 5(7): 376. Lieb, Michael. "The Sinews of Ulysses": Exercise and Education in Milton. *The Journal of General Education*. 1985; 36(4): 247. Schuler, Stephen J.: Sanctification in Milton's Academy: Reassessing the Purposes in *Of Education* and the Pedagogy of *Paradise Lost*. *Milton Quarterly*, 2009; 43(1): 39, 41. <https://onlinelibrary.wiley.com/doi/epdf/10.1111/j.1094-348X.2009.00209.x>. June 1. 2022.
- 7) 杉本政繁: ミルトンの体育思想—“Of Education”(1644)に見るルネサンス期の体育一, 大阪体育大学紀要, 2005, 36: 3.
- 8) Milton, John.: *Of Education*. Preface and Notes by Donald C. Dorian. *Complete Prose Works of John Milton*, general editor, Don M. Wolfe, vol. II, New Haven: Yale UP; 1959: 366. ミルトン, ジョン: 教育論, 私市元宏・黒田健二郎訳, 未来社, 東京, 1984: 34.
- 9) 梅根悟: 西洋教育思想史1: 紳士教育論の時代, 誠文堂新光社, 東京, 1968: 264. 中村敏雄: スポーツと教育 スポーツを考えるシリーズ3, 大修館書店, 東京, 1978: 41.
- 10) Ainsworth, Oliver Morely.: *Milton on Education*. New Haven: Yale UP; 1928: 42-43. Milton, John.: *Areopagitica and Of Education: With Autobiographical Passages from Other Prose Works*. Edited by George H. Sabine. New York: Appleton-Century-Crofts, Inc.; 1951: vii. 杉本誠: ミルトンの教育観, 城西大学女子短期大学部紀要, 1986, 3(1): 26. https://libir.josai.ac.jp/il/user_contents/02/G0000284repository/pdf/JOS-KJ00000589161.pdf. October 22. 2023.
- 11) Samuel, Irene. Milton on Learning and Wisdom. *PMLA*. 1949; 64(4): 708-23. Koslow, Julian.: "Not a Bow for Every Man to Shoot": Milton's *Of Education*, between Hartlib and Humanism. *Milton Studies*. 2008; 47: 24. 野村宗央: *Paradise Regained*における“the true orator”の役割, 英文学論叢, 2010, 58: 15-29.
- 12) Hackensmith, C. W.: *History of Physical Education*.

- New York: Harper & Row; 1966: 100. Rice, Emmett A., John L. Hutchinson, Mabel Lee.: *A Brief History of Physical Education*. 5th ed. New York: The Ronald Press Company; 1969: 54-55. Van Dalen, Deobold B., and Bruce L. Bennett.: *A World History of Physical Education: Cultural, Philosophical, Comparative*. 2nd ed. New Jersey: Prentice Hall, Inc.; 1971: 162-68. Leonard, Fred Eugene, and George B. Afleck.: *A Guide to the History of Physical Education*. Connecticut: Greenwood Press; 1971: 57.
- 13) Milton, John.: *Of Education*. Preface and Notes by Donald C. Dorian. *Complete Prose Works of John Milton*, general editor, Don M. Wolfe, vol. II, New Haven: Yale UP; 1959: 409.
- 14) 新井明：ミルトン，清水書院，東京，1997：23, 96-97. 杉本誠：ミルトンの倫理観，城西大学女子短期大学部紀要，1(1)，1984，15.
https://libir.josai.ac.jp/il/user_contents/02/G0000284repository/pdf/JOS-KJ00000589005.pdf. November 9. 2023.
- 15) 新井明：ミルトン，清水書院，東京，1997：180.

